

「ダム施設」を訪問して

宇部地区合同同窓会 久富 博志（社建H9年卒）

きっかけは、今年の春先に2～3日の休暇が取れることになった時だった。半分は家庭の用事に、残りをどうしたものかと、職場の同僚と話をしていたところ、ダムカードの話聞き、ドライブ好きということもあり、県内の全てのダム施設（カード配布箇所）を訪れてみようということになった。

ダムの目的は主に治水・利水・発電などである。我が国のダムの数は、カード配布箇所だけでも約950箇所あり（最多都道府県は北海道の70箇所）、本県は23箇所である。

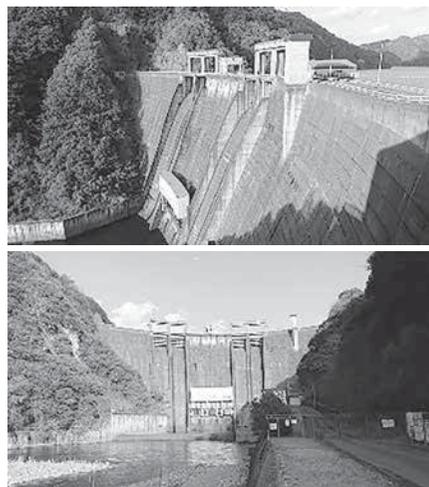
また、国土交通省管轄のダムについては、通常のカードとは別に、「天皇陛下御在位三十年記念カード」も併せて配布される（本県には2箇所あり、実はこれが訪問の大きな理由の1つ。ただし5月末までの限定期間であり、現在は終了しています……）。

3月上旬、最初に訪れたのは、「島地（しまぢ）川ダム」。国土交通省所管である、周南市一級水系佐波川水系島地川に1976年着工・1981年に竣工された。特徴としては、工法に世界初の「RCD工法」が採用されていること。RCD（Roller Compacted Dam-Concrete）工法とは、セメント量を少なくした超硬練りのコンクリートをブルドーザー・振動ローラーといった汎用建設機械で敷き均し・締固めを行う工法であり、それまでの現場配合コンクリートをケーブルクレーン等で現場内運搬し、バイブレーターで締め固める工法に比べて大量打設が可能になり、施工性が飛躍的に向上するとともに、ダム建設専用の機械を持ち込む必要が少なくなり、ダム建設コストの縮減が期待される工法である。

ここで簡単な写真撮影を行い、隣接する管理事務所でカードを入手しようとしたが、勝手がわからず周辺をうろついていたところ、不審者と思われたのか、中から職員の方が出てこられ、その旨を伝えると丁寧な対応でカードをいただくことができた。ダムカードの件については全国的に知られているようで、いただく際に、在住場所（都道府県・市町村）を記載することとなっているが、中には東京から訪問された方もおられ、吃驚したことを覚えている。

結局、この連休時には他用のため、この1箇所のみの訪問となってしまったが、都合や行程をやり繰りし、何とか県内についてほぼ訪問することができた。そのうち印象に残った施設を写真とともに紹介しようと思う。

まずは「阿武川ダム」。阿武川水系阿武川に1970年着工・1975年に竣工されたこの施設は、県内最大・全国的に見ても屈指の総貯水量（1億5,350万 m^3 ）を誇る。



阿武川ダム

特徴としては、県内唯一のアーチダム（アーチ止水壁にかかる水圧を両側面の岩盤で支える型式のダム）で、上空から眺めると河川を

横断する堤体が弧を描くように見える。とにかくその景色は、壮大で美しく、上から見下ろしても、下から見上げても十分満足させられるものであった。

次に「弥栄ダム」。山口県岩国市・広島県大竹市2県にまたがる国土交通省管轄の小瀬川水系小瀬川に昭和55年着工・平成2年竣工された。特徴としては、総貯水量（1億1,200万 m^3 ）もさることながら、景観がすばらしい。

本施設は、有名な弥栄湖に隣接し、自然公園として整備されており、桜の木が植栽されている。撮影時は既に葉桜であったが、機会があれば満開時に訪れたいと思っている。

（カードには満開時の写真が載っています。）

施工時の工夫としては、左右岸540m・上下流120mの広範囲に、大量のコンクリートを打設するための機械設備（クレーン）を、効率的経済的かつ、安全に動かせるよう配慮したとのこと。

ここは先に述べた島治川ダムと同様、国土交通省管

轄ということで、天皇陛下御在位三十年記念カードもいただきました。（最初訪れた際、この場所が気に入ってしまい、もう1回訪れてしまいました。もちろんカードも2枚持っています。）

その他20箇所近く訪れたが、共通することは山奥に建設されているので、自然を楽しみながら移動できること、カードをいただく際

の職員の方々も丁寧で、中には概要説明を行ってくださる方もおられ、大変満足できたことだ。その場に立ち、壮大かつ美しい施設を眺めると、計画決定から竣工までの長い歴史が目に浮かんできたものである。

興味を持たれた方のために何点かアドバイスをさせていただくと、施設は県内隔々に点在しており、相当な移動距離となる（中にはほとんど車両が通行しないような幅員の狭い山道もあり、運転には注意が必要）ので、効率的な移動方法の計画が必要であること、また、配布箇所によっては平日（9時～17時）のみというところもあり、行動時期も考慮が必要等大変であるが、そのぶん達成した時の満足度は高いと思う。あとマナー順守ということで、場所によっては駐車場が設置されていないところもあり、他の場所に駐車することになるが、通行の妨げ・近隣住民の迷惑にならないよう配慮してほしい。

また、本県は水力発電の役割を広く周知する目的で「発電所カード」を訪問者に配布している（全国で本県のみとのこと）。

発電はダムの役割の一つであり、発電所はダム施設に隣接していることが多いので、興味のある方はダム施設とセットで訪問されたら効率的と思う。

私の最終目標は全国のダム施設訪問である。ここで言いたいことは、趣味を持つことが大切であり、達成が困難もしくは時間を要することの方が、長く継続でき、仕事等の活力になると思う。

今後もこの考えを大切にして、仕事に趣味に頑張っていこうと思う。



弥栄ダム